

ESPEC

Corporate
Social
Responsibility

REPORT **2007**

[DIGEST]



私たちは、社会の安全・安心を支える環境



✦ 環境試験器

温度や湿度、圧力、振動などを高精度に制御して、あらゆる環境を人工的に再現する環境試験器。デジタル家電や自動車など、さまざまな製品の品質、安全性・耐久性を高めるために役立てられています。



恒温(恒湿)器 プラチナスKシリーズ



冷熱衝撃装置 TSAシリーズ



✦ FPD装置

テレビや携帯電話、デジタルカメラなど使用用途がますます広がる液晶ディスプレイ。当社は、この液晶をはじめとするFPD(フラットパネルディスプレイ)の製造過程で使われている熱処理装置の市場において、世界No.1のシェアを誇っています。



枚葉式クリーンオープン HSC-9

✦ 半導体装置

デジタル家電などさまざまな製品に搭載されている半導体の生産ラインには、不良品を選別するバーニンという検査工程があります。当社はこの検査工程で使われるバーニン装置を世界のお客さまに提供しています。



バーニンチャンバー



✦ 環境エンジニアリング

その土地本来の植生にあった植樹による「森づくり」や自然の河川を取り戻す「水辺づくり」など、自然環境の創造や修復に関する事業を展開しています。

創造技術の世界No.1ブランドです。

暮らしを支える、さまざまな工業製品の信頼性向上・安全づくりに貢献しています。

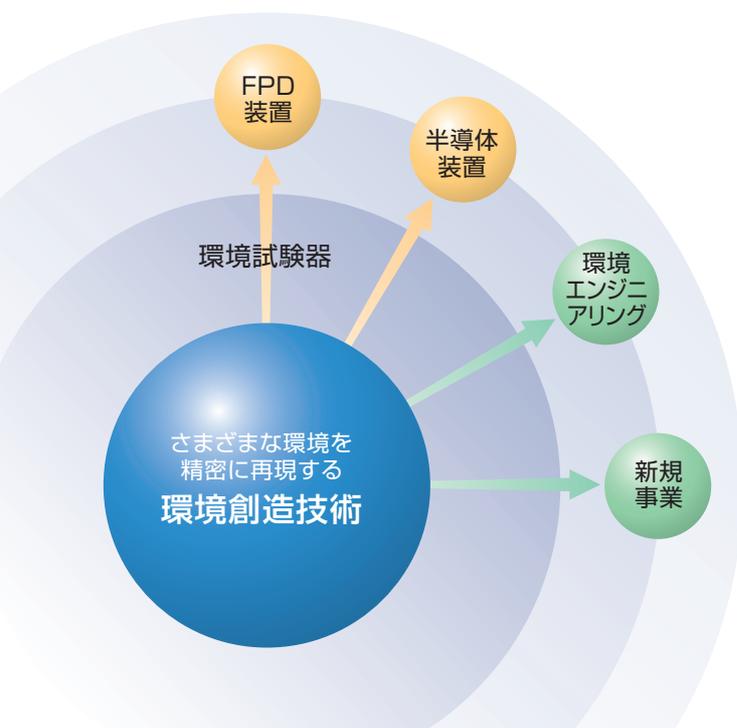
携帯電話やデジタルカメラ、パソコン、テレビなどのデジタル家電製品は、もはや私たちの生活になくてはならない存在。また、自動車や航空機にもたくさんの電子部品が使用されています。これらの工業製品はどのような環境で使用しても、正常に機能することが求められており、ここで重要な役割を果たすのがエスペックの環境試験器です。人工的に温度、湿度、圧力、振動といった「環境」を精密に再現し、それらが製品に及ぼす影響を分析・評価することで、暮らしと社会の安全・安心を支えています。

No.1ブランドとして世界のお客さまから高い信頼を得ています。

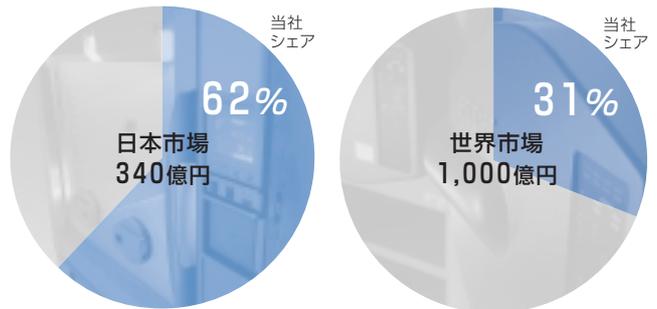
1961年に日本ではじめて環境試験器を開発した当社は、環境試験市場において、国内62%、世界31%と、他社を寄せ付けぬ圧倒的なシェアを誇る世界NO.1メーカーです。長年培ったノウハウと優れた技術、そして、世界のお客さまへのきめ細やかな対応を可能とする充実したネットワーク。「エスペック」ブランドは世界のお客さまから高い信頼を得て、その地位を確固たるものにしていきます。

FPD装置へ、半導体装置へ私たちのフィールドは拡がり続けています。

エスペックは環境試験で培った「環境創造技術」をコアに、液晶などの生産ラインの熱処理工程で使われるFPD装置や、半導体の生産・検査工程における半導体装置、環境の創造や修復を実現する環境エンジニアリングなどに事業を展開しています。さらに、成長性と収益性が期待できる分野での新規事業開発を推進するなど、エスペックの活躍するフィールドは拡がり続けています。



■環境試験市場



当社推定 (2005年度)

「良き社会の一員」としてCSR経営を積極的に進めています。

エスペックは創業以来、現在のCSRに通じる考えを経営の根幹に脈々と受け継いできました。当社の価値観を体系的にまとめた「THE ESPEC MIND」の思想の中心は、エスペックが「社会に価値を提供し続ける存在」でなければならないというもの。その中の「宣言」では、経営において私たち全員が尊重すべき事柄として「遵法」「文化」「人権」「環境」「啓発」の5つを掲げ、その実践を誓うとともに、エスペックが「良き社会の一員」として存在することを宣言しています。さらに、「THE ESPEC MIND」の思想をベースに、すべての役員・従業員に適用する企業行動原則と行動基準を具体的に明記した「エスペック行動憲章・行動規範」を制定し、意識・行動両面でのCSRの実践を進めています。

「THE ESPEC MIND」にシンボライズされるCSR重視の経営は、先進的なグローバルカスタマーから大きな信頼を得るとともに、エスペックの事業活動の大切な基盤となっています。



エスペックの思想・価値観を体系的にまとめた「THE ESPEC MIND」(左)と、所属するすべての役員・従業員に適用する行動原則と行動基準をまとめた「エスペック行動憲章・行動規範」(右)

※詳細は、<http://www.espec.co.jp/corporate/csr/compliance/especmind.html>

社会性パフォーマンス

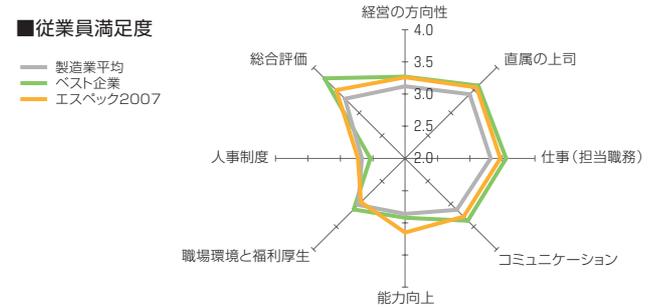
すべてのステークホルダーにご満足いただける世界優良企業を目指した取組みを進めています。



社員の創造性・多様性・能力を生かし、共に成長していく「社員が主役」の会社でありたいと考えています。

●従業員とのかかわり

会社の盛衰は「人」で決まります。会社にとって「人」が中心であり、「人」重視の経営こそが会社発展の原動力です。社員が働いて、楽しいエキサイティングな会社でありたい。社員が主役の会社でありたいと考えています。エスベックでは、2004年度から毎年「従業員満足度調査」を実施し、従業員満足度を把握するとともに、経営品質の向上に役立てています。



✦プロフェッショナル人材を育てる

人材開発の基本方針は、仕事を通じた自己実現を支援し、本物の「プロフェッショナル人材」を育てることです。従業員それぞれが自身の資質・個性・キャリアプランに基づいて、「マネジメント人材」「スペシャリスト人材」として自己実現し、会社と社会に貢献できる複線型の人材開発を行っています。また人事制度では、「役割・成果主義」と「選択と自己責任」の二つを基軸に、「若さ」と「活力」の創出に努めています。

✦トップコミュニケーションを積極的に推進

人材開発に当たっては、教育プログラムの充実を図るだけでなく、積極的にトップコミュニケーションを行っています。経営トップ自らが経営方針や課題などについて伝える社長通信の発行や、社員の意見・要望を直接聞く社長懇談会の開催を通じて、ビジョンの共有や意識改革、風通しのよい社内風土づくりに努めています。

✦基本的人権、多様性の尊重

「THE ESPEC MIND」で人権の尊重を謳っていますが、雇用においても、年齢・性別・障がい等による差別的取扱や、言動を一切行わず、定年退職者の再雇用・障がい者の雇用、女性の管理職登用などを積極的に進めています。



海外を含めたグループの教育・研修の拠点「福知山研修センター」(2007年5月完成)。最大160名収容可能な会議室、同時通訳の設備も備えている。

「お客さまの品質を支える」という自覚のもと、グローバルカスタマーの期待と信頼に応えます。

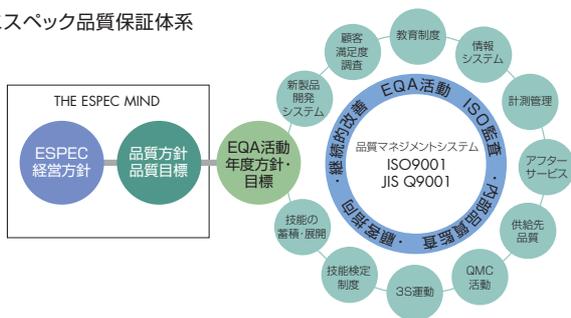
●お客さまとのかかわり

エスペックの環境試験器はお客さまの品質保証活動の中核を担うものの、当社製品のクオリティがそのままお客さまの製品のクオリティに直結します。そのため、当社では品質保証体制/サポート体制を充実させ、グローバルカスタマーの期待に応える、優れた製品・サービスの提供に努めています。

❖ 独自の品質保証体制EQA (ESPEC Quality Assurance)

企業のグローバル化に対応した独自の品質保証体制を国内外で確立。品質国際規格「ISO9001」取得はもちろんのこと、2006年度には品質戦略会議を新設し、全社横断的な体制とすることで抜本的な品質改善に取り組んでいます。

■ エスペック品質保証体系



❖ 充実のサポート体制で高い信頼と評価を獲得

エスペックでは全国に22拠点ものサービスネットワークを構築。24時間フルタイム技術対応サービスや、製品突発故障の約90% (2006年度) を3日以内で修理対応するなど、その迅速な対応は、お客さまから高い信頼と評価をいただいています。

また、製品仕様や技術問合せ、資料請求などに対応するカスタマーセンターも設置。年間約14,000件 (2006年度) にのぼるお客さまに対応するとともに、設計・開発部門にお客さまの声を最大限に生かすシステムづくりを行い、運営しています。

事業活動の重要なパートナーとして、相互発展できる関係の構築を図っています。

●取引先さまとのかかわり

取引先さまに対しては、公正・公平な取引関係の上に乗って、良好なパートナーシップの構築、相互発展できる関係づくりを重視しています。エスペックとの相互信頼の構築、共存共栄を目的に組織しているのが「エスペック共栄会」で、現在は43社に参画いただいています。また多大な協力をいただいた取引先さまを表彰する「エスペック優良取引先表彰制度」を導入しています。

❖ グリーン調達の実施

エスペックは2000年に「エスペックグリーン調達基準書」を制定し、グリーン調達を実施。取引先さまに対して講習会、現地指導などの活動支援を行っています。



優良取引先表彰 (2006年度表彰式)

IRポリシーに基づき、公平かつ迅速な情報開示と積極的なコミュニケーションを展開しています。

●株主・投資家さまとのかかわり

エスペックは「良き社会の一員」として、あらゆるステークホルダーとのよりよい関係の構築や社会的責任を果たすことを企業理念として掲げています。株主・投資家さまとのコミュニケーションにおいても、その理念を踏まえ、明文化された「IRポリシー」に則ってIR活動を行っています。

❖ 公正・迅速な情報開示

公正かつ迅速な情報開示を行うために、IR資料の充実、機関投資家・アナリスト向け会社説明会、個人投資家向け会社説明会などを実施。特に継続的に充実を図ってきたIRサイトは「インターネットIRサイト優秀企業賞」(大和インベスター・リレーションズ社)を連続受賞するとともに、「全上場企業ホームページ実態調査」(日興アイ・アール社)で優秀サイトとして選定されるなど高い評価をいただいています。また、株主さまとの直接対話の貴重な機会である株主総会も、より多くの株主さまに参加いただけるよう、集中日を避けて開催するなど開かれた運営を行っています。



❖ 連結配当性向20%を目安に利益還元

株主さまへの利益還元を経営の重要課題として認識すると同時に、永続的な企業価値の向上が株主利益向上の基本と考えています。配当金は各年度の連結業績を重視し、連結配当性向20%を目安に配当を決定。2006年度は前期比2円増配の1株あたり22円で、連結配当性向は20.6%となりました。



地域社会の一員として、また地球市民として「私たちにできること」を大切にしています。

●地域社会とのかかわり

エスペックではさまざまな社会貢献活動を推進しています。2006年度は、●ジャワ島中部地震被害への義援金の寄付 ●公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による地球環境保全に関する研究開発への資金援助 ●労働組合の上部団体JAM主催の社会奉仕活動への社員の派遣 ●全国事業所での地域清掃活動などを実施。また本社の近くにつくられ、上方落語の新たな拠点として話題になっている「天満天神繁昌亭」の設立支援も行いました。



ジャワ島中部地震義援金寄付風景

環境パフォーマンス

「いかに環境に役立つか」という高い視点に立って、総合的な取組みを進めています。



土地本来の植生にあった木が植えられた神戸R&Dセンターの「エスベックの森」



多様な生物群が自然に集まるように整備された神戸R&Dセンターのビオトープ



ビオトープを訪れたアオサギ

環境先進企業を目指し、
全社を挙げて環境マネジメントに
取り組んでいます。

●環境マネジメント

エスベックは「エスベックは、かけがえのないこの地球を決して傷つけない。単に環境に負荷をかけず、素晴らしいサービスを提供するか、という範囲にとどまってはならない。いかに環境に役立つか、という視点こそエスベックたるゆえんである」という環境宣言を掲げ、真摯に環境に取り組んでいます。

1996年には「全社環境基本方針」を定め、これ以降、改訂を重ねています。また、同じ1996年に「環境管理」を導入し、事業所単位での活動とISO14001認証取得を推進してきましたが、2003年度に全社一括活動に移行しました。2007年度は、国内グループ3社31事業所での全社一括活動を通じ、環境ガバナンスの強化を図っています。また環境マネジメントを推進する母体として、1996年度から社長を委員長とする「全社環境管理委員会」を設置し、全社共通の目標管理、各種案件の審議などを行っています。

第3次環境中期計画「エスベック2010グリーンプラン」

CO₂を1990年度比10%削減などの
高い目標を掲げ、
4つの取組みを進めています。

2010年度に向けた取組みの指標として2005年に制定したのが、第3次環境中期計画「エスベック2010グリーンプラン」です。「地球温暖化の防止」「資源循環」「有害物質削減」「社会貢献」の4つを重点テーマとし、「グリーンプロダクト」「グリーンプロセス」「グリーンマインド」「グリーンアクション」の4つの取組みを進めています。

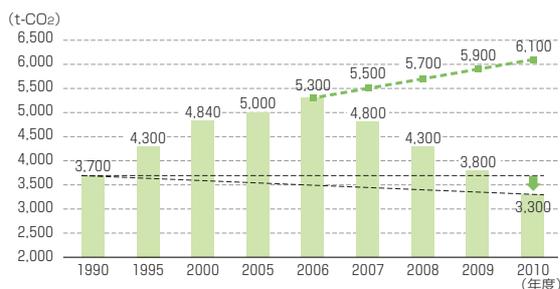
重点テーマ	2010年度目標値
地球温暖化の防止	1990年度比CO ₂ 10%削減*
資源循環	①ゼロエミッション100% ②使用済み製品回収率50%
有害物質削減	①製品:新規開発製品のRoHS対応100%完了 ②部品:標準製品群を対象にAランク(社内基準)の市販部品を100%対応
社会貢献	社会貢献度200%(2005年度100%)*独自指標

*CO₂削減目標の適用範囲は、国内エスベックグループISO14001全社一括取得企業から、受託試験事業を除いたものとする。

✦CO₂削減のための取組み

第3次環境中期計画で最も重視したのが、地球温暖化の防止です。京都議定書ではCO₂を1990年比6%削減(2012年)が目標とされていますが、エスベックでは2010年度に10%削減とさらに高い目標を設定。事業の拡大・成長を計画している中、現状のままでは6,100tのCO₂排出が見込まれるのを、3,300tまで削減しようというもの。「さすが」と言われる環境先進企業を目指すエスベックならではの取組みを進めていきたいと考えています。

■環境中期計画(CO₂排出削減計画)



ビオトープを訪れたアオサギ

① グリーンプロダクト

環境に配慮した製品とサービス

エスベックの主力製品「環境試験器」が地球環境に与える影響を削減しようというのが、「グリーンプロダクト」。省エネ、リサイクル、HFCフロンへの転換、化学物質の適正使用など、環境に配慮した製品づくりへの取り組みを総合的に進めています。



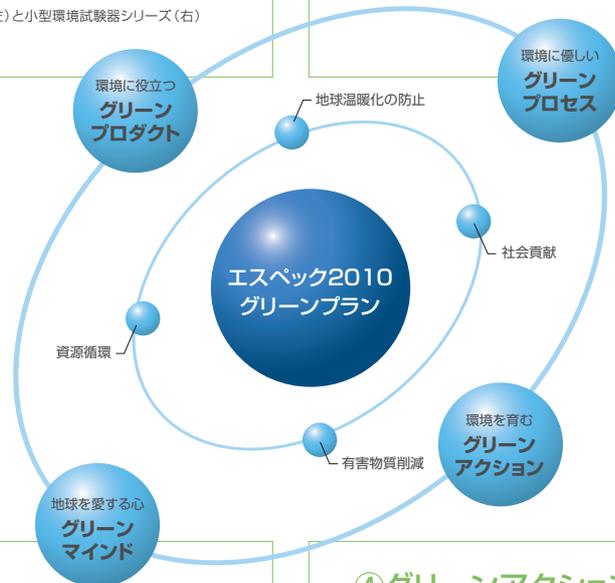
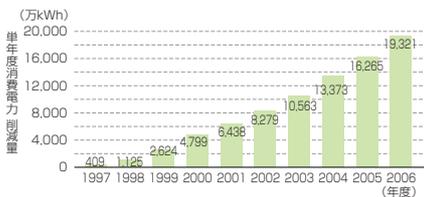
従来機から30%以上の省エネを実現した環境配慮型製品の販売も拡大し、お客さま先での製品消費電力の削減量は2006年度では19,000万kWhに達しています。



●環境配慮型製品の例

省エネで高い評価を得ている恒温恒湿器 プラチナスKシリーズ(左)と小型環境試験器シリーズ(右)
※省エネ数値はいずれも機種平均。あくまでも参考値です。

■お客さま先での製品消費電力削減量



② グリーンプロセス

環境に配慮した工程

製品だけでなく、製造プロセス、さらに営業・サービス・物流など、すべてのプロセスで環境に配慮した取り組み「グリーンプロセス」を進めています。

たとえばサービス部門では、修理・保守業務時に発生する不要物をすべて持ち帰り、分別・適正処理を実施。修理・廃棄時のフロン回収も行っています。

物流では、資材調達時に梱包材・緩衝材を削減するために通い箱化を推進。また輸送時にはダンボール梱包の開発(特許2件公開中)、梱包無し輸送などを実施。また、CO₂の排出量を抑制するモーダルシフト(鉄道輸送)もスタートしています。

事業所では、事務用紙の削減に取組むとともに、事務用品/OA機器/衛生用品などのグリーン購入を進めています。また、社有車をハイブリッド車などの低燃費車に順次切り替えを行っています。

これらの環境への取組みは、社外から高い評価を受け、2005年には「第3回日本環境経営大賞 環境経営優秀賞」(日本環境経営大賞表彰委員会/三重県)を受賞しました。



輸送時の省資源化を実現するダンボール梱包(特許2件公開中)

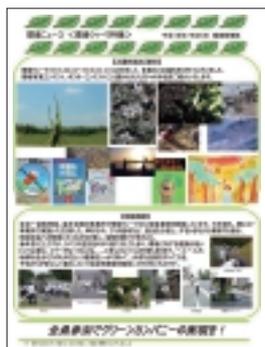
③ グリーンマインド

環境教育

「もったいない精神」を核に、環境を大切にする意識と人材・風土づくりを進めているのが「グリーンマインド」です。

6月5日の「世界環境デー」を含む週を「エスベック環境強化週間」として設定。全従業員、取引先さまやそのご家族などを対象に、環境啓発に関する各種取り組みを実施しています。従業員向けに「環境ニュース」を発刊し、環境保全活動の事例紹介など、啓発活動に役立てています。

また、神戸R&Dセンターでは「ふるさとの木」を植樹したエスベックの森の育成、ピオトープづくりを行い、従業員やその家族が環境について学べるフィールドになっています。



環境ニュース

④ グリーンアクション

社会貢献

環境面での社会貢献として、「グリーンアクション」を進めています。その一つがNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)と共同で行っている太陽光発電のフィールドテスト。1995年の宇都宮テクノコンプレックスでの太陽光発電施設設置に続き、2006年度は、神戸R&Dセンター、福知山工場にそれぞれ50kW相当の施設を新たに設置しました。



神戸R&Dセンター

このほかにも、環境フェスティバルの開催、ソーラーカー・ラリーへの参戦なども行っています。



ワールド・ソーラーカー・ラリー

会社概要

2007年3月31日現在

社名	エスペック株式会社
英文社名	ESPEC CORP.
創業	1947年7月25日
設立	1954年1月13日
資本金	6,837百万円
証券市場	東証・大証一部上場(証券コード:6859)
従業員数	1,287名(連結)、605名(単独)

主な事業所

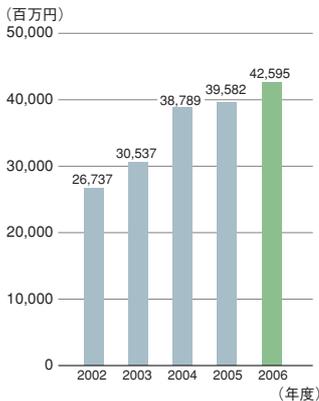
本社	大阪市北区天神橋3丁目5番6号
東京支社	東京都港区港南2丁目15番1号
営業拠点	品川インターシティA棟12階 仙台・さいたま・東京・名古屋 大阪・広島・福岡
工場その他事業所	福知山・宇都宮・東京・神戸

子会社会社および関係会社

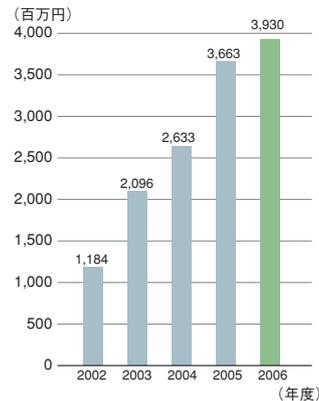


連結業績の推移

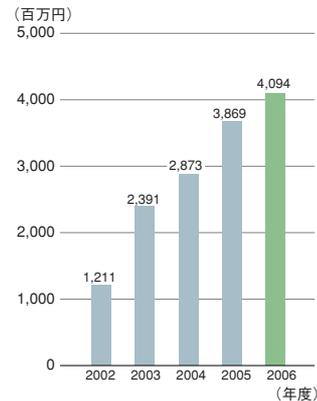
売上高



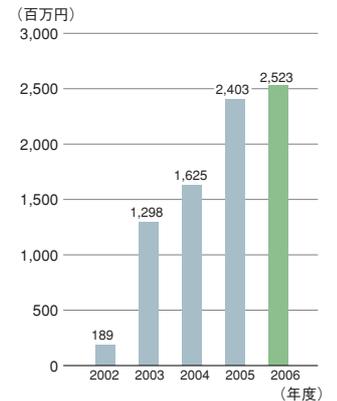
営業利益



経常利益



当期純利益



お問合せ先

エスペック株式会社 総務部・環境管理部
〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6 電話:06-6358-4754 FAX:06-6358-3511 E-MAIL:csr@espec.co.jp

エスペックCSR REPORT 2007 ダイジェスト版

※本誌はエスペックCSR REPORT 2007の要約版です。
CSR REPORT本編は、当社ホームページのCSRサイトからダウンロードいただけます。

エスペックホームページ

<http://www.espec.co.jp/>

